

# 子どものゆたかな学びを保障する教育

子どものゆたかな学びを保障する教育



- 子どもの学ぶ意欲やゆたかな学びを重視し、子ども一人ひとりの学力保障と教職員の専門性向上を！
- 教員に経済的、精神的負担を課す「教員免許更新制」の早期廃止を！



- 学校現場の負担となっている全国学力・学習状況調査については、悉皆調査を廃止し、あり方を抜本的に見直すこと。
- 教職員の専門性を高めるための自主的、主体的な研修の機会を保障すること。
- 多様な教職員の確保につながる「開放制」の原則を堅持し、学生の「教職離れ」につながらないような養成のしくみを確立すること。
- 第三者も教員採用に関わる方式とする公正・透明なシステムを確立し、年齢制限の撤廃や障害者の採用拡大をすすめること。

## 「全国学力・学習状況調査」を毎年実施する必要があるのでしょうか？

都道府県の状況(公立)

	小学校				中学校			
	国語A	国語B	算数A	算数B	国語A	国語B	数学A	数学B
◆高い3都道府県の平均・全国平均との差	+0.8問	+0.5問	+0.8問	+0.8問	+0.8問	+0.4問	+1.8問	+0.8問
◆全国平均(公立)・平均正答数/出題数	10.9 /15問	5.8 /10問	12.4 /16問	6.1 /13問	25.0 /33問	6.0 /9問	22.4 /36問	6.6 /15問
◆低い3都道府県の平均・全国平均との差	-0.3問	-0.2問	-0.3問	-0.3問	-1.0問	-0.3問	-1.9問	-0.7問

文部科学省2016年度全国学力・学習状況調査の結果より



**文科省のコメント**  
平均正答数の上位県と下位県の平均を全国平均との差でみた場合、都道府県単位では、学力面において、ほとんど差が見られません。

## 毎年、約60億円をかけた無限ループ

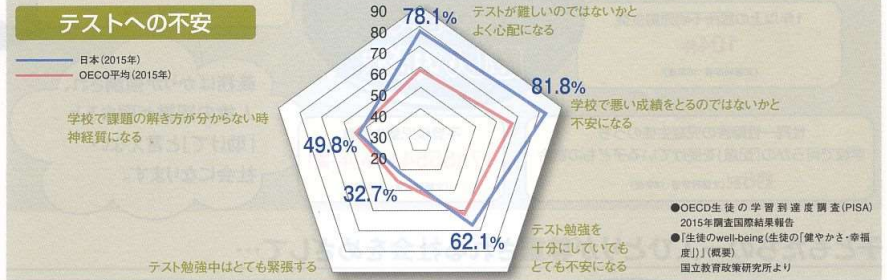


## 国際的に見て日本の子どもは、意欲や自己肯定感が低い!

### 自己肯定感と意欲に関する国際比較



### テストへの不安



### 学校現場からの声

2016年度 日教組「全国学力・学習状況調査に関する実態報告」より

- 子どもの様子
  - ・事前練習を始める時、「あ～またか」という声があがった。
  - ・調査当日は、1日中集中して調査にとり組み疲れ果てていた。
  - ・調査終了後「だめだった～」とつぶやいている子どもがいた。
- 教職員の声
  - ・過去問の事前練習のため、本来の子どもの授業時間が大きく削られている。
  - ・調査結果がランキングになっていて、明らかに序列化や競争になっている。
  - ・全国学力調査のための都道府県独自の学力調査や対策テスト等が増えた。